

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	情報処理 I		
科目基礎情報							
科目番号	0151		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	物質化学工学科		対象学年	2			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	間中 淳						
到達目標							
1.表計算ソフトの機能を理解し使用できる。 2.2次元化学構造式描画ソフトの基礎的操作法を理解できる。 3.3次元化学構造式描画ソフトの基礎的操作法を理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
表計算機能	化学レポート作成へ応用できる		基本的な機能を理解できる		基礎的な機能の理解が不十分		
2次元化学構造式描画ソフト	化学レポート作成へ応用できる		基本的な機能を理解できる		基礎的な機能の理解が不十分		
3次元化学構造式描画ソフト	化学レポート作成へ応用できる		基本的な機能を理解できる		基礎的な機能の理解が不十分		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1 ディプロマポリシー 2 ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	表計算ソフトや化学構造式描画ソフトの基礎的操作法を講義・演習を通して理解・習得し、化学の分野へ活用できる技能を身に付けることを目的とする。						
授業の進め方・方法	講義と演習						
注意点	1学年で履修した情報基礎Iの内容を確認すること、また、ただのPCスキルのみならず、化学の分野へ応用することを意識すること。授業計画は、学生の理解度に応じて変更する場合がある。						
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標			
		1週	ガイダンス	全体の概要説明			
		2週	計算機能	計算機能を使用できる			
		3週	表計算機能	表計算機能により大量のデータを計算させることができる			
		4週	関数入力	基本的な関数機能を理解できる			
		5週	化学計算への応用1	基礎的な化学計算への応用ができる			
		6週	化学計算への応用2	専門的な化学計算への応用ができる			
		7週	表作成機能	化学レポートに対応したフォーマットの表を作成できる			
	8週	中間試験					
	2ndQ	9週	試験返却				
		10週	グラフ作成1	グラフ作成機能を理解できる			
		11週	グラフ作成2	グラフ作成機能を活用し種々のレイアウトのグラフを作成できる			
		12週	グラフ作成3	化学レポート用のグラフを作成できる。			
		13週	二次元化学構造式描画ソフト	種々の化学構造式を作成できる			
		14週	三次元分子モデリングソフト	種々の3次元分子構造式を作成できる			
		15週	総合演習	複数のソフトを融合して化学レポートを作成できる			
16週		授業アンケート					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3		
			情報リテラシー	論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	3		
			情報リテラシー	コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	3		
			情報リテラシー	情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	提出物	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	50	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
専門的能力	0	0	0	0	50	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0